

令和6年度第1回球磨川水系学識者懇談会  
議事録（概要）

日 時：令和6年10月4日（金）9：30～11：30

場 所：熊本城ホール 3階会議室（A3）

出席者：委員 小松委員長、井田委員、大槻委員（WEB）、大本委員、鬼倉委員（WEB）、  
上久保委員、久保田委員、小林委員、竹内委員、田中委員、  
星野委員、南本委員

国 飯島八代河川国道事務所長、一ノ瀬八代河川国道事務所流域治水課長  
齋藤川辺川ダム砂防事務所長

県 村山総括審議員、仲田球磨川流域復興局審議監、有働河川課長

司会 中島八代河川国道事務所副所長

【要旨】

1. 環境整備事業の再評価

球磨川水系環境整備事業再評価について、本懇談会にて提示された対応方針（原案）にて異議なしということで「事業継続」することを了承する。

- 地域の協力体制として「くまがわ勉強会」を設置して議論されているが、よい取り組みなので成果を紹介いただきたい。
- CVM アンケートによる便益の算出においては、便益が増加した理由やアンケートの設問項目についても説明資料で示していただきたい。
- カジカのように一度絶滅した種が復活したことは素晴らしく、この効果はアンケートの支払い意思額に出ていないと考えるため、そういう意味では過少に評価されているとも捉えられる。
- かわまちづくり事業においても、自然環境についてしっかり考えて進めていただきたい。

2. 事業の報告

- 流域治水について住民にも分かりやすい説明になるよう工夫して欲しい。
- 遊水地については、ネイチャーポジティブに効果的に貢献できるため、積極的に考えて欲しい。また、河道掘削については、河川生態系のことも考えて進めてもらいたい。

以上